

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 3月 12日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		事前に月利用予定表を作成し、定員をオーバーしないように調整しています	コロナ禍の影響も鑑みてソーシャルディスタンスの確保や zoom を用いた支援も行っています
	②	職員の配置数は適切である	5		利用定員に対し、適切に職員を配置しています	児童の増減に伴い、適切な人員配置を行っています
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	各部屋にはロールカーテンを設置し、視覚的な情報を制限する工夫をしています。また、玄関の段差をなくし、スムーズに入室出来るようにしています	スロープなど目に見えたバリアフリー化は出来ていない為、適宜検討中です
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		毎朝必ず清掃を行い、清潔な環境を整えたと共に、国の方針に沿った対策をしています	コロナ禍の影響も鑑みて、活動後の机や椅子は、都度、消毒を行っています
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		初めの支援計画やその後の支援計画ではスタッフ全員で意見交換を行っています	担当指導員と児発管の間で情報をせざるなく、全員に周知できるようにしています
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		保護者様にご協力いただき、毎年実施しております。また、内容全てに目を通し、より良い環境を作れるようにしています	皆様からいただいた意見を基に校舎運営を行っています
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		集計結果は各クラ・ゼミの HP のトップページで記載・公開しています	HP に記載された際には、改めて保護者様にお伝えしていきます
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5	現在、第三者評価は行っていません	第三者による評価は受けていませんが、職員間で業務改善について話し合う機会は設けています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		コロナの影響もあり、zoom を用いて辞令検討会をしたり、独自の研修を行っています	コロナ禍の状況を鑑みて、集まることは難しいですが、継続した研修の機会を設けていきます
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		支援計画を作成するにあたり、聞き取りをしっかりと行い、その内容を支援計画に反映させるようにしています	様々なニーズに対応する事が出来るよう、職員間の情報共有も合わせて取り組んでいます
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		全社共通のアセスメントツールを用いて、お子さんの状況を確認しています	お子さんの成長に合わせて、適宜、アセスメントの見直しを行っています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		支援時の様子や保護者との振り返りを基に、個別支援計画の内容を具体的に設定しています	適宜、振り返りを行い計画の見直しを図っていきます

関係機関や保護者との連携	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		職員間で現状の確認を行う事で、支援の計画を意識して活動できるようにしています	職員間の情報交換の場を増やし、より良い支援を提供できるようにしていきます	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		担当指導員が立案する事が多いですが、内容については職員間で共有し、状況に合わせたプログラムを行っています	職員間の情報交換の場を増やし、より良い支援を提供できるようにしていきます	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		活動の状況から臨機応変にプログラムの内容を変更するようにしています	出来るだけ多くの指導員と関わる機会を増やす等の環境を整えています	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	5		個別サポートを主に行っておりますが、集団の中で活かすことが出来るような支援計画を立てています	コロナの影響も考慮しつつ、状況が好転した際にはイベントを通した小集団活動を実施していきます	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		朝礼時に支援内容や気になることを職員間で確認し、情報交換を行っています	突発的な変更事項等があった際には迅速に対応できるよう、職員間の連携を確認していきます	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		終礼の中で特記事項を取り上げて共有しています。また、翌日に向けての準備や心構えが出来るよう全体の確認を行っています	その日のうちに振り返りが出来なかった際には、翌日の朝礼で確実に情報共有できるようにしていきます	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		欠かさず支援記録を書く事で、小さな変化にも気付けるようにしています	記載した支援記録を基に、今後の支援計画を立てるようにしていきます	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		モニタリングのスケジュールを決めて、そのスケジュールに沿って毎月、モニタリング会議を実施しています	お子さんの状況を鑑みて、予定より早くモニタリングを行い、目標を見直すようにしています	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		担当指導員や管理者が参画することで、スムーズな情報交換を行えるようにしています	担当者会議には、本校での活動内容をまとめた資料を作成して持参しています	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	保護者様の意向や状況に応じて連絡を取り合う準備は出来ています	現状では連携した支援は行えていませんが、機を見て行えるようにしていきます	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			5	現在、医療的ケアが必要なお子さんは通所していません	現状は、医療的ケアが必要なお子さんは通所されていませんが、各機関との関係性は構築できるようにしていきます
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			5	現在、医療的ケアが必要なお子さんは通所していません	現状は、医療的ケアが必要なお子さんは通所されていませんが、各機関との関係性は構築できるようにしていきます
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			保護者様のご要望があれば適宜、情報交換を行っています	現状は移行支援を行っていませんが、今後は機を見て情報共有を行っていきます
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5			保護者様のご要望があれば適宜、情報交換を行っています	現状は移行支援を行っていませんが、今後は機を見て情報共有を行っていきます
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			発達支援研究所と連携し、zoomを用いて研修を行っております	コロナの影響も鑑みて、WEB上で受講可能な研修を選択し、参加できるようにしていきます
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある			5	左記に対して望まない保護者様が多いので、現状、そのような機会は設けていません	保護者様から多くの要望があれば、実現に向けて調整していきます

	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	コロナ禍であることや時間を割くことが出来ていない為、参画できていません	コロナの状況を確認し、機を見て参加したいと考えています
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	ご家庭や学校での様子の聞き取りを行ったり、現状の療育や内容についてもお話ししています	直接、来所することが難しい保護者様には連絡ノートを用いて情報交換を行っております
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	現状、ペアレントトレーニングを実践できるスタッフがおりません	今後、支援技術を学ぶ機会を設けていきたいと考えています
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	ご契約の際に、一人ずつお話しさせていただきます	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	児童発達支援管理責任者から、計画書にある内容を保護者様にわかりやすく説明した上で同意を得ています	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	保護者様の声に真摯に向き合い、出来る限り寄り添った支援を行えるようにしています	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	コロナ禍にあり、こちらから声を掛けて人を集めることを控えています	保護者様から、多くのご要望をいただければ検討していきます
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	保護者様から相談申し込みがあった際には、必ず職員間で共有し、出来る限り早急な対応が出来るよう心掛けています	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	HPや元氣サーチを更新し、新しい情報を発信していますが、通信などの発行はしておりません	保護者様からのご要望があれば、必要に応じて会報等を発行していきます
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	5	個人情報に記載されているファイルが入った棚には、鍵を掛けて保管しています	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	場面性緘黙症などの場合は筆談を行うなど、障がいの特性に合わせて配慮しています	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	コロナ禍において、地域交流は行っておりません	コロナの状況を鑑みて、イベントを画策していきます
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	全社で共通されたマニュアルを策定しております
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	定期的に避難訓練を行い、スタッフ間の意識を高めていきます	避難訓練の様子についてはHPや元氣サーチを通して皆様に周知していきます
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	フェイスシートにご記入いただき、職員間で情報交換をしていきます	発作が起きた時の対処法については、訓練に取り入れていきます
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	アレルギーについての聞き取りは行っていますが、本校では食べ物の提供はしていません	イベント開催時には、十分に注意して行います

④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		必要に応じて作成し、事業所内で共有しています。また、HPにて全国のヒヤリハット集を作成して公開しておりますので、いつでも閲覧可能となっております	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		クラ・ゼミ独自の研修を行い、スタッフの意識を高めています	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		現状、身体拘束を必要とするお子さんは来所していませんが、個別支援計画にその旨が記載されていることを説明し、了承をいただいています	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年3月12日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌篠路校

保護者等数（児童数）：2 回収数：2 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2					
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1			1		教室内はバリアフリー設定にはなっていませんが、お子さんの特性に合わせて部屋を設定する等の工夫をしています
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2					
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	2					
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				2		現状、保護者様から交流をもってほしいという要望が出ていない為、機会を設けていません
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	1			1		現在、専門的な知識を持ったスタッフはいませんが、機を見て学びの機会を設けていきたいと考えています

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2					
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				2		コロナ禍にあり、人が集まるような会合は行わないようにしています
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2					
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1			1		HP や元気サーチにて、最新の情報を発信していますが、必要に応じて会報等を教室内に提示することも検討しています
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2					
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか				2		教室内にマニュアルを提示する等の方法を取り入れ、よりわかりやすくしていきます
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				2		定期的に避難訓練を行う等の取り組みを行っていますので、会報等でよりわかりやすく皆様にお伝えできるようにしていきます
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	2					
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2					

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」より事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。